

## 大規模災害等対応訓練を実施しました

市議会では、大規模災害発生時の議員の対応を定めた『気仙沼市議会大規模災害等対応要領』に基づき、11月26日に災害発生時の安否確認や情報伝達等の訓練を実施しました。

災害時を想定し、各議員が安否情報のほか、近隣の様子をカメラで撮影した写真をタブレット端末で送信し、議会全体で共有しました。

また、市議会災害対策会議をオンライン会議にて開催し、議員が自宅等から会議に参加するなど、緊急時に道路等の通行が困難な場合でも、迅速な対応ができるよう、操作方法等を確認しました。

議員からは、災害時には定期的に全議員でオンライン会議を行い情報共有すべき等、活発な意見が交わされ、今後対応を検討していきます。

今回の訓練の結果を踏まえ、災害時において適切な対応ができるよう取り組んでいきます。



オンラインで行われた災害対策会議



菅原市長に減額の申し入れを行う菅原議長

### 新型コロナウイルス感染症対応へ

## 議会費を削減しました

11月26日、新型コロナウイルス感染症対応に係る経済対策等の財源として、議長から市長へ議会費減額の申し入れを行いました。

12月定例会において、常任委員会・特別委員会等の行政視察関係予算等918万2000円を減額しました。

### 新庁舎建設調査特別委員会

## 旧市立病院解体工事 アスベスト等対応費用に約4億円

11月24日に新庁舎建設調査特別委員会が開催され、新庁舎建設に伴う旧市立病院の解体調査設計業務の進捗状況について説明を受けました。

アスベスト含有調査実施状況については、構造物の318カ所から検体を採取し、65カ所からアスベストが検出され、平成20年の調査で検出された2カ所を併せた67カ所の対応費用は概算で4億1800万円と試算しました。これにより、現時点での解体工事費は概算で16億7750万円となります。

今回の解体設計では、周辺地形に影響するおそれのある一部の建物は残し、造成工事の際に解体する

こととしています。

この解体調査業務の成果を基に、年度内に工事発注し、来年度早々に解体工事の契約を行う予定です。新庁舎の建設設計者については、プロポーザルで来年3月に選定する予定です。

議員からは、今回の調査におけるアスベスト除去等対応や一部構造物を残置することで、スケジュールに影響を与えないのかとの質疑があり、当局からは、全体的なスケジュールには影響がないとの回答がありました。

○陳情・要望等は次のとおり受理しました。(12月1日まで受理分)

区分	番号	趣 旨	提 出 者
陳情	1	「安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための意見書」採択を求める陳情書の提出について	宮城県医療労働組合連合会執行委員長 中山 修
	2	ウイグル等の人権問題に対し国に調査を求める意見書採択の陳情	ウイグルを応援する全国地方議員の会 会長 丸山 治章 外3名
要望	1	シルバー人材センターへのご支援についての要望	公益社団法人気仙沼市シルバー人材センター理事長 横山 武
要請	1	人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること	柴田町西船迫 柴田 民雄
	2	米の需給調整および米価下落・稲作経営農家支援対策に関する緊急要請	新みやぎ農業協同組合 代表理事組合長 大坪 輝夫 外1団体